

2016・5・17

アドラーなら何と言う？

理事長 渥 美 雅 子

アドラーブームである。アドラーとは、ウィーン生まれの精神医学者（心理学者）で、フロイトやユングに次いでこの分野に残した業績は大きい。そのアドラーは言う。人の心を支配するエネルギーは劣等感である。劣等感は権力を求め、強いものに憧れる。劣等感の処理に失敗すると人は神経症になる、と。

もしもアドラーにDV加害者の心の中を割って見せたら何というであろうか。「うわあっ、この大きな塊！やはり俺の説は正しかったのだ」。しかし、一気にその塊を取り除くことは難しい。

私たちはこの際アドラーの説に飲み込まれてしまわないくらいのエネルギーを持っていたいものだ。



第14回定期総会のご案内

場所 中央保健福祉センター大会議室（きぼーる 11階）

【第1部】13:00～13:40 総会

【第2部】13:40～13:55 2015年度支援団体活動報告

＜DV防止啓発イベント＞ アンガーマネジメント講座

イライラのパワーを幸せのパワーに

講師：菅野昭子さん（日本アンガーマネジメントファシリテーター）

日時 2016年 6月4日（土）14：15～15:30（受付開始 14:00）

場所 中央保健福祉センター大会議室（きぼーる 11階） 入場無料（定員 50名）

要申込 TEL 090-7907-7339 FAX 043-441-6148

主催：認定NPO法人 DV被害者支援活動促進のための基金

DVをなくそう！あなたの力で一歩ずつ

DV撲滅のため 皆様のご理解とご協力が大切です。皆様のご寄附でDV撲滅へ一歩ずつ！

当法人は認定NPOを取得致しました。認定されたことにより皆様が当法人に

ご寄附下さる場合、寄付金相当額の一部が税金控除の対象になります。

期間は、平成26年7月23日から平成31年7月22日の5年間です。

払込口座は、ゆうちょ銀行払込口座： 00170-3-583758

DV被害者支援活動促進のための基金

【2015年度 20万円助成団体】

DV 防止ネットワークちば

5回連続講座開催費用助成

「この日本で 「貧困」 を考える」一を振り返って

DV 防止ネットワークちば

27年度事務局担当 竹内由紀子

第1回 「総論：女性と貧困—

多くの女性は貧しい？みえないのはなぜ？」

第2回 「子どもの貧困—

子どもに貧困を押し付ける日本」

第3回 「若い女性の貧困—2人に1人は非正規」

第4回 「長生き女性は寿女性？

ビンボー婆さんの現状は？」

第5回 「DV 女性と貧困」



2015年9月から2016年2月にかけて開催してきたこの連続講座は、DV 被害者支援活動促進のための基金の助成金を獲得することが出来て開催できたものである。

DV の問題を抱えて初めて貧困問題と直面する女性たちが多い現状を知る私たちは、なぜそのような状況に女性が陥らざるを得ないのかを知るために、いろいろな角度から「貧困」について学んでいった。格差が広がるのはなぜなのか、女性が守られていると思っていた制度が実は囲い込みの制度だったということや貧困を社会の問題として考えられない人たちにとっては、個人の努力が足りないから貧困に陥るのだろうと自己責任論になる背景とか、既得権益を得るために主流となる秩序の中で勝ち残らなければならない縛りや力を持っているものが支配をしていいという間違った価値観がはびこる背景とか、いろいろな知識を得ることができ、いろいろな角度からの捉えなおしが出来た。

上下関係、優越感と劣等感、富める人と貧しい人・・・などに見える社会の中の白黒思考、お金に困らない生き方をするためにと言いながらお金に縛られて生きている私たちの有り様など、DV の問題に直結する問題点が社会の中にあることが確認できた連続講座であった。

《千葉市教育委員会後援》 DV 基金主催

DV 防止啓発のためのパネル巡回

中央区公民館・図書館を
2枚のパネルが巡回します。

(平成28年9月より)

DV 問題の予防には、より多くの方
の関心が必要です。パネルがより多く
の人の目に止まることを目指します

*この事業は中央区地域活性化支援事業「みんな
で創る中央区づくり」助成を受けて開催されます

Notice よりお知らせ

notice の活動形態が個人事業に変更に

2015年12月末をもって法人を解散、事務所を閉所して、2016年より個人事業に活動の形態を変更しました。現在、昨年5月より名前を変更・内容を調整して実施している「関係修復プログラム」は船橋市内の貸会議室を使って継続します。関係修復プログラムには4つの参加要件があります。参加要件に合う方は、どうぞご連絡いただければと思います。

詳細 : URL : <http://dv-notice.com/>

または、検索 : 「関係修復プログラム」

【役員室より】



理事 吉田英一

毎日数字とにらめっこしていた約40年数年間のサラリーマン生活から一転、あるご縁でDV被害者支援にかかる仕事をさせていただきました。

今まで「DV」(ドメスティック・バイオレンス)という言葉は、テレビ・新聞等で見聞きすることはありませんが、具体的な知識はありませんでした。

そこで、いろいろ調べた結果、DVは統計上その被害数が増加の一途であることが判明しました。警察庁のまとめで、2014年度のDV被害件数は59,072件(2013年度49,533件)で前年度比約19%の増加で過去最多を更新。また全国の「配偶者暴力相談支援センター」に寄せられた配偶者からの暴力に関する相談件数は、2014年度は102,963件(2013年度99,961件)で前年度比約3%の増加で年々増加しているようです。

次に、DVの種類についても大きく「身体的DV」「精神的DV」「経済的DV」「社会的DV」の5つに分類されることがわかりました。「身体的DV」は最も認識されやすいDVですが、「精神的DV」は直接的な暴力が無くても、精神的ないやがらせ、

大島史子(おおしま ふみこ)

1982年生まれ。子どものころから絵を描くのが好きで、大学卒業後は人権団体に勤め、パンフレットやチラシにイラストを描く。その後イラストレーターとして活動を始め、現在にいたる。脱原発デモで知り合った人と数年交際ののち、最近結婚したばかり(夫婦別姓のため、事実婚)。大の猫好き。

《主な活動》

- ・(公財)日本キリスト教婦人矯風会発行「婦人新報」挿絵
- ・「明日の自由を守る若手弁護士の会」(あすわか)憲法リーフレットイラスト、
- ・『女性官僚という生き方』(村木厚子ほか編、岩波書店)表紙イラスト、
- ・季刊誌「教師の友」(日本キリスト教団出版局)漫画連載など。

恐怖を感じるような言葉、態度に関するDVです。また、最近の内閣府の調査でも夫から暴行や暴言といったDVを受けた経験のある女性が4人に1人いることも明らかになっています。

最近、マスコミ等で非常に注目されている心理学者アドラーに関する本を読みました。アドラーは「人間は、性別も、親も子供も、上司も部下も関係なく、すべての人間が対等で横の関係にある。つまり人間の価値に上下ではなく、誰もが同じ権利を持っているので誰かが誰かを手段として扱うこともできないし、人は誰にも何にも支配されない」と述べています。

また「精神的DV」にあたる事柄として配偶者からの「誰のおかげで飯が食えるんだ」「なんの稼ぎもないくせに」「金銭的になんの不自由もさせていないのに、なんの不満があるのか」と言われている専業主婦のケース(縦の関係)がよくあるとアドラーの研究者は指摘しています。

私は、DV防止のためには、アドラーが述べている事柄を、皆が良く理解するのは大変意義のある事だと思いますが、子供の頃から「DVとは何か?」を教えることも肝要ではないかと考えさせられました。

《引用本文と主な参考文献》

- ・NHKテレビテキスト
『アドラー 人生の意味の心理学』 岸見一郎
- ・ダイヤmond社『嫌われる勇気—自己啓発の源流「アドラーの教え』 岸見一郎 古賀史健 著

いつもDV基金のニュースレターやイベントのチラシデザインを引き受け下さっているイラストレーターをご紹介します。



DV 基金秋のイベント予定

2016年10月15日(土) 13:00~

場所：京葉銀行文化プラザ 椿の間

DV 防止ネットワーク会議

大川玲子 NPO 法人千葉性暴力被害支援センターちさと代表

後藤弘子 NPO 法人子どももセンター帆希新理事長

国松憲子 千葉県人権擁護委員連合会

男女共同参画推進委員会会委員長

第2部

尺八とギターのコラボレーション

現代尺八愛好会「昂」クラブ

主催：NPO 法人 DV 被害者支援活動促進のための基金

*このイベントはパルシステム千葉 NPO 助成の事業です



NO ! ! DV

DV のない社会づくりを進めましょう

**DV 被害者支援活動促進のための基金は
皆様のあたたかい心に支えられています。**

団体会員・個人会員募集中

DV 基金の趣旨に賛同し、広く理解と協力の輪を広げる会員を募集しています。

個人会員 年会費 3,000 円

団体会員 年会費 10,000 円

《会費・寄付金は下記の払込先へお願ひいたします》

DV 被害者支援活動促進のための基金

ゆうちょ銀行払込口座：00170-3-583758

編集後記 新しい道を応援したい

DV 夫の暴言に反論しようものなら「お前はすぐ口答えする」「俺に反発する」などと言われ、まるで悪いことをしているように思い込まれてしまう被害者。私達には、自分を護るために当然の権利があります。そして、自分が正しいと思う道を選び切り開いていく力は大切だと痛感します。(M)



NPO 法人 DV 被害者支援活動促進のための基金

NewsLetter vol.34 発行日 2016.5.17

発行：DV 被害者支援活動促進のための基金事務局

E-mail:dvkikinn@nifty.com URL:<http://dvkikinn.a.la9.jp/>(URLが変更しました)



DV 被害者支援活動促進のための基金の

DV 無料相談

毎週月曜

午後 2 時から 4 時半

043-441-6014

<秘密厳守>気軽にご相談ください

◆ 寄付金総額 580,400 円

個人会員数 128 名

団体会員数 20 団体

(2016.3.31 現在)

◆ DV 基金では、研修会や講習会へ講師の派遣、DV 関係の教材ビデオの貸し出しなど、ご相談に応じています。
お気軽に事務局宛にご連絡下さい。

TEL 090-7907-7339

◆ 今後の予定

・2016年 6月 4日(土)総会

・2016年 7月 11日(月)理事会

定期理事会：原則奇数月第三月曜日